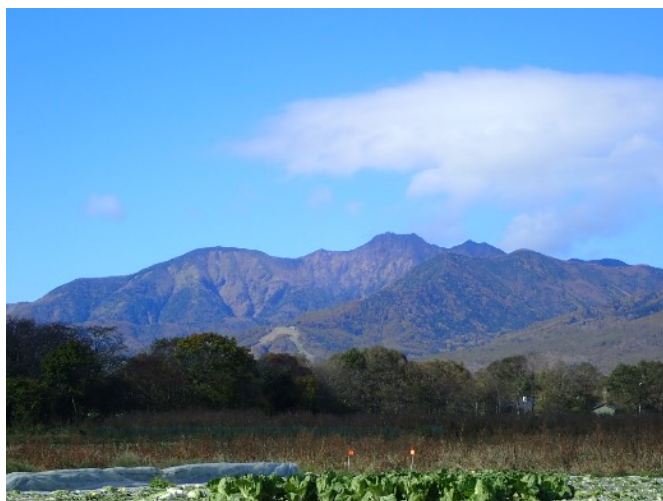
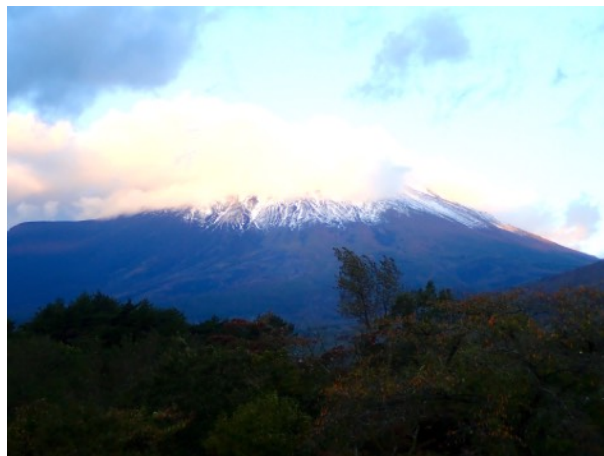


2025Wcamp9 ワークキャンプ9 10月24日から27日 削り台づくり12台、材木整理
バンドルダイ実験、薪割り（2回）

10月24日（金）松田の家を5時30分に出発、太平洋側は雲の多い天気だが、須走から富士の裾野がクッキリ見えて、山頂付近の雲に朝日が当たり輝き出した。気温は17℃。山中湖・河口湖を通過して、御坂峠から甲府盆地に入ると、雲も少なく晴天。

朝のラッシュ時間になっていたの、国道20号線で須玉を通過するまで60分。この時間だと「八ヶ岳プレート」の開店時間（8時）に丁度良い。このパン屋さんは清里・野辺山の別荘に向かう人が多く、犬を連れてテラスで珈琲とパンの朝食を取っている。どのパンも美味しくてボリュームがあり、定番のカンパーニュやバケットそして一番人気はカレーパン。昼食用にポテトとベーコンのパンとサンドイッチを買いました。勿論カレーパンも



野辺山からは八ヶ岳が山頂まで見えています。気温は12℃、快晴です。左から編笠山・権現岳赤岳・横岳・天狗岳、2500m～2899m(赤岳)が山梨県と長野県の間に連なっています。



30代の頃に冬季（積雪期）に2人の友人と3人で縦走しました。2人の友人は残念ながらことにもう他界しています。また一緒にキャンプをしたり登山したかったですね。

10時ごろに佐久市内に到着、業務スーパーで食料品の買い出し。11時ごろに山荘に到着しました。外気温は11℃、キリッとした空気です。荷物を降ろして、薪ストーブに点火、室内も11℃でした。（外よりの寒い感じですが）お湯を沸かして、カップスープとパンで軽く昼食を済ませて、作業開始します。

小海線（こうみ）は山梨県の小淵沢から長野県の小諸まで78.9Kmを結ぶ高原列車です。JR線で最も標高の高い「JR鉄道最高地点1375m」が野辺山にあります。佐久盆地ではとにかく真っ直ぐな線路で1919年に開通した当時は何もないところに線路を引いたので真っ直ぐな線路に出来たのでしょう。中学2年の頃、清里でBSの夏季キャンプをした頃は横浜線・中央線を乗り継いで汽車の旅でした。当時の小海線はSL車両で、モクモクと煙を出して坂道を登っていく勇壮を思い出します。



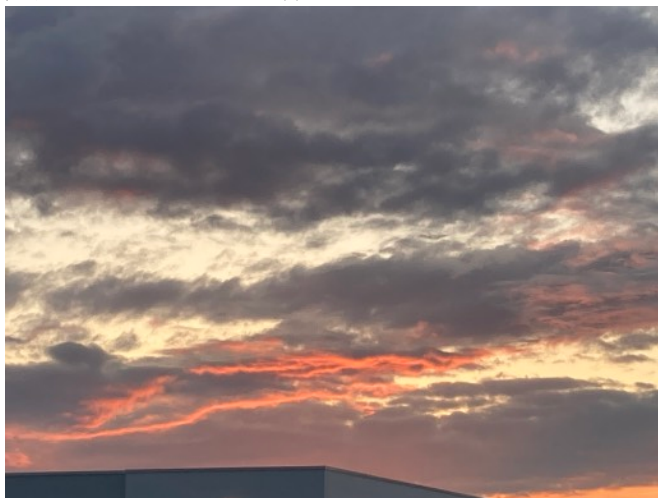
午後からは「削り台」づくり、来年度の授業用（高校）に12枚作成する予定です。倉庫に保管していた板（破風板 30枚）を木工作業所にリヤカーで運搬、同じ大きさの板を選んでその他の板は天井下に保管。出来上がった削り台がスタッキング出来るように、長さは750mm幅は



210mmに丸鋸で切断。翌日、トリマーで2本の溝を掘ります。

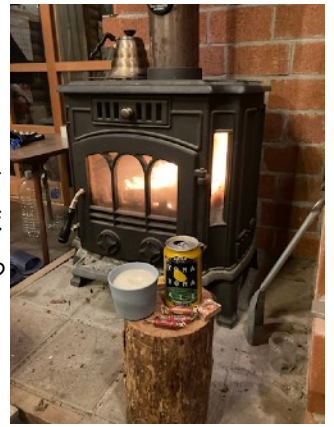


雨水システムは修理後、順調に稼働してくれています。前週に実施した3泊4日の講座でも、水漏れや水不足もなく生活用水を供給してくれました。12月の冬季閉鎖まで頑張ってくれることを願っています。



15時から「バンドソー 高儀製」を修理に出すために佐久平のカインズへ。この店からメーカーに運搬してもらいます。横浜に帰ってから、連絡があり修理代金¥8500でした。

5月のGWごろは18時ぐらいまで、明るくて温泉から帰ってくる星尾林道も安全でしたが秋の夕暮れは早く、17時ごろには真っ暗になってしまいます。そこで、温泉と買い物は15時に出発しないと狭い林道で怖い思いをしてしまいます。無事に帰宅（山荘）して薪ストーブの前でビールを飲みながら、読書・ゆっくりした時間が流れていきます。 22時就寝



10月25日（土）5時50分起床 気温5℃ 15℃ 曇のち晴れ
天気が良いのでだいぶ冷え込んできました（放射冷却）朝食はほうじ茶3杯とヨーグルト＋フルーツ。寒い朝は、薪割りからスタート。



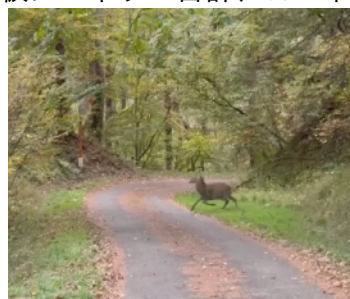
リヤカー3台分の丸太を鉋で割りました。唐松とシデは結構硬くなっています。含水率9.8%とても良く乾いた良い薪。約一時間の薪割りで、薄ら汗をかいて身体はぼかぼかしてTシャツ一枚で大丈夫。ログハウスの外にある薪置き場と室内の薪はいっぱいになりました。薪が沢山あるとなんだか安心な気持ちになります。これで、ワークキャンプ中も暖かく過ごせるでしょう。

11時ごろに増田さんお手伝いに来てくれました。26日に秋桜・桜の葉・ヨモギなどで「バンドルダイ」の実験をやることになっています。そして、10月初旬に伐採した「カワシデ」でスツール（椅子）の座板と貫を作ることになりました。



私は木工作业所で、削り台にルーターで2本の溝を作る作業。この溝はナイフで材料を削るときに材料を固定するためのものです。ルーターは板にある節や硬い部分ではねたりするので、ちょっと危険です。しっかり抑えないと暴れます。12枚の板に二本ずつ合計、24本の溝をルーターで掘りました。

夕方、温泉に行く途中で野生の鹿を発見、帰りにも遭遇しました。



夕飯はビーフシチューとクルミ&イチジクのパンそしてビールを頂きました。午前中に割った薪がいっぱいあるので、薪ストーブでドンドン燃やしました。いつの間にか居眠りして、22時ごろ気づいて就寝

10月26日(日) 6時起床 9℃ 20℃
曇のち雨 今日1日雨予報なのでバンドルダイの実験を行います。

9時ごろからホールで準備作業。押し花、押し葉にした植物をテーブルに広げて、採取日と場所・植物名を記入。

蒸し器を準備して、水(10L)を沸かす。ハイカロリーコンロの性能テストをしたところ10Lが沸騰するのに25分でした。バーナを全開にするとかなり燃費が悪くなるようで、ボンベが直ぐに空になってしまいます。蒸し器の温度は98℃まで上昇。

トートバッグを媒染(アルミ・ミョウバン、鉄・酸化第一鉄)濃度は布の重さを計量して、明礬は10% 鉄は1%とした。



全く移らない植物もあるかもしれませんが、実験なので押し葉にした植物を並べてみました。



ラップで植物を被い、麺棒を入れて巻き付ける。

出来上がった棒状のトートバッグを蒸し器に入れて、蒸し時間は60分、その間に昼食。



左から蒸す前の状態、蒸し器、蒸し上がった熱々のトートバッグ、60分で蒸発したお湯2L

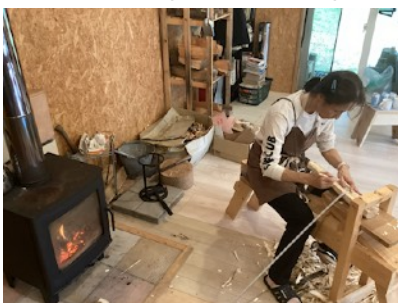


押し花にした秋桜は茎も花も良く出ている。アイビー・くずなどは色が出ていない。タマネギ・ヨモギ・くり・くるみがくっきり出る。

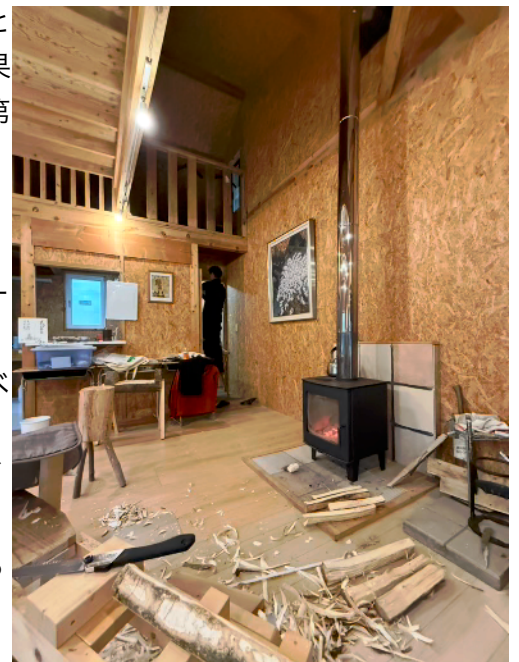


2回目の実験はかなりの種類を試したので、はっきり出るモノと出ない物が段々分かってきた。蒸し器の性能は良く、お湯の減りも少なく、蒸気が外部に漏れることもあまりない。鍋と上部の間に天ぷら用の網を使ったのがよい結果になっている。また、蓋と中蓋も重いので蒸気の漏れが少ない。第三回目の実験に向けて、植物採取と研究を続けることとした。

お昼頃にFBで「外あそびフェスティバル」11/15長野市アルプス公園の告知があったので、主催者に出店の申し出をしたところ、夕方に承認の連絡があり参加することにした。グリーンウッドワークでネームスティック・えんぴつなどのワークショップを行う予定。午後からはトイレのドア修理や木工作業所の配置を変更してベルトサンダーの削りかすが外に出るように工夫した。



増田さんは削り馬とドロナイフでスツールの部材（座面と貫）づくり。ドロナイフの使い方もだいぶ上手になってきた。



15時から温泉へ（一万里温泉の湯がぬるく温まらない）夕食はマルチグリドルで野菜とソーセージの炒め物、白菜スープ、ビールで乾杯。マルチグリドルはとても便利です。22時就寝



10月27日（月）6時30分起床 9℃ 21℃ はれ

朝食（白菜スープ・ヨーグルト・牛乳）後に次回のために薪割り。リヤカー1台分ですが、かなり堅い樹木（シデ）なので、時間がかかりました。

講座で伐採したサワシデの枝や山桜の枝を整理してハンガー掛け用に短く手鋸で切断。次回加工してログハウスとホールに設置しようと思います。キーボックスにも良いと思います。午前中は清掃と整理作業をして、11時ごろには軽い昼食パンと白菜スープにブドウを頂きました。



一雨ごとに寒くなり、紅葉も始まっています。

13時ごろに山荘の戸締まりをして、横浜に向けて出発。R141号線・小海付近にある「松原湖」を目指しました。紅葉の名所です。まだ早い（11月がよい）静かな湖畔は秋の気配がしています。次回も立ち寄ってみたいと思いました。

今回のワークキャンプでは、増田さんのお手伝いも



あり、バンドルダイの実験も成功しました。冬季閉鎖するまで後一ヶ月、削り台の仕上げやボーイスカウト（東京文京5団BS隊）の下見など数回、山荘で作業できそうです。

次回は11月14日から17日の予定です。11月15日は長野市で行われる「外あそびフェスティバル」に参加します。